

トルコギキョウ斑点病の発生生態と防除技術

背景 新規発生病害のトルコギキョウ斑点病は生態や防除技術が不明でした。

成果の内容 トルコギキョウ斑点病の**発生生態**を明らかにし、**防除技術**を開発しました。

発生生態

発病特性



30℃: 退緑病斑

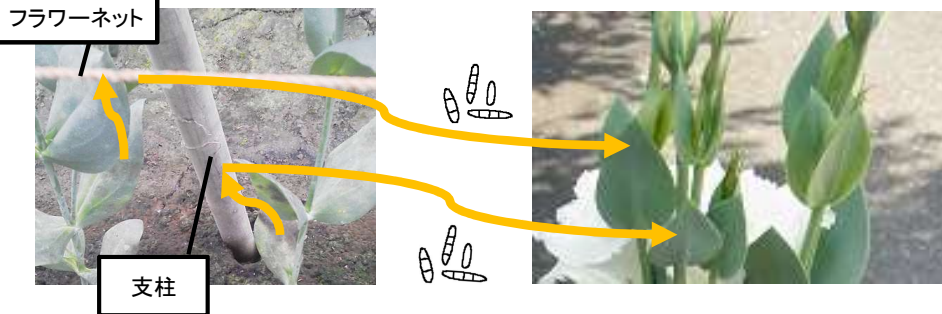
温度が25℃以下に低下すると胞子を形成



15~25℃: 病斑上に黒褐色の胞子を形成

伝染源の解明

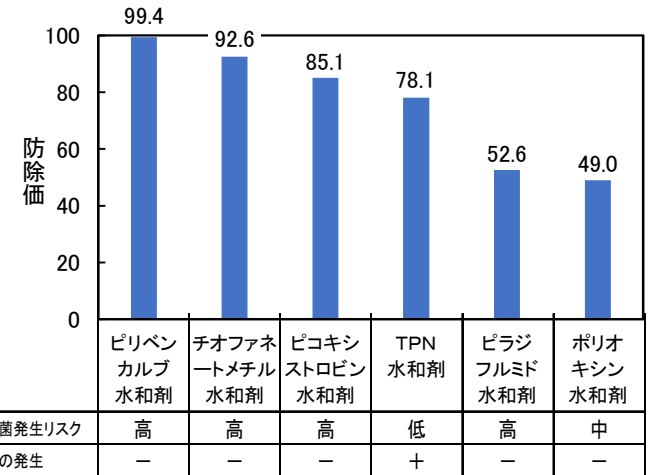
斑点病発生ほ場では胞子が資材に付着し次作の伝染源となる



防除技術

栽培期間中の防除

育苗期から本ぽまで約10日間隔で登録薬剤をローテーション散布することで斑点病を抑制できる

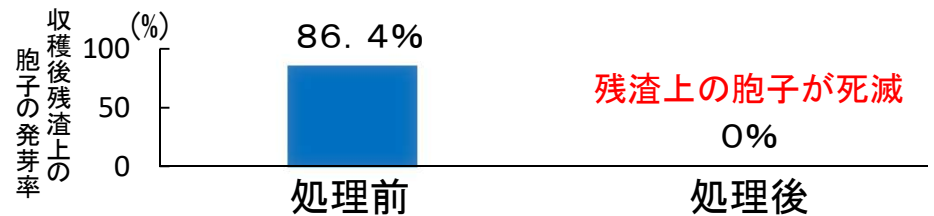


※登録薬剤は2021年12月時点

栽培終了後の対策



カーバムナトリウム塩液剤のマルチ被覆内かん水処理



(病害虫部)